

2020年10月18日(日)朝10:10  
10月第3公同主日礼拝式説教

聖靈降臨節第21、自由交歎会等  
日本アライアンス庄原基督教教会

## 説教題：**真のしるしとは(4～)**

聖書：マタイ 16章1～4節

<口語訳>

新約聖書25～ 頁

マタイ 16章1～4節

<新共同訳>

新約聖書32～ 頁

マタイ 16章1～4節

<新改訳第3版>

新約聖書32～ 頁

マタイ 16章1～4節

<塚本訳>

新約聖書116～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖靈の導き

によって主の弟子たちは、主の名による  
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、  
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓・説教と表現される箇所です。
- ◇本日はマタイ16:1～4節の「真のしるしとは(4～)」と、マタイ16:4節で、パリサイ人・サドカイ人の悪質な質問、「天のしるしを見せてもらいたい」(1)にお答えになったものです。  
⇒「真のしるしとは(4～)」は、主は敢えてお答えになりませんでしたが、「主ご自身」です。
- ⇒パリサイ派の人々は、宗教熱心で、復活も信じていましたが、サドカイの人々は、政治色が強く、多くが、祭司でしたが、欲望に染まっていました。ただ1つ、「御子イエス・キリスト様」が、自分たちが、待ち望んでいた政治色のある「王なる救い主(メシヤ)」ではなかったことで、敵対することで、一致した。
- ⇒KT師は、これを「悪魔」の働きを彼らが代行していると仰せです。
- ⇒「悪魔・悪霊」は、主を試みたいからです。

## 本論；

◇本日、マタイ書16:1～4節から主の使信に  
思い・心noujをとめます。

◆マタイ16章1～4節；使徒マタイは、  
「真のしるしとは(4～)」との主のみことばを通して、「神(天)の国」の隠されている「神の真理・  
真実」を示しています。

◇16:1～4節；塚本訳◆天からの徵

- 1 するとパリサイ人とサドカイ人とが来て、イエスを試そうとして、(神の子である証拠に)天からの(不思議な)徵を示すようにと頼んだ。
- 2 彼らに答えられた、「あなた達は夕方には『(明日は)天気だ、空が焼けているから』と言い、
- 3 また朝早く、『きょうは荒れだ、空が雲って焼けているから』と言う。あなた達は空の模様を見分けることを知つてながら、時の(せまつた)徵を見分けることが出来ないのか。
- 4 この悪い、神を忘れた時代の人は、徵をほしがる。しかしこの人たちには、ヨナの徵以外の徵は与えられない。」イエスは彼らをすべて立ち去られた。と、使徒マタイは主のことばを

語っています。

◇マタイ16:1～4節では、「するとパリサイ人とサドカイ人とが来て、イエスを試そうとして、(神の子である証拠に)天からの(不思議な)徴を示すようにと頼んだ(1)」。「彼らに答えられた、「あなた達は夕方には『(明日は)天気だ、空が焼けているから』と言い(2)、また朝早く、『きょうは荒れだ、空が雲って焼けているから』と言う。あなた達は空の模様を見分けることを知つていながら、時の(せまつた)徴を見分けることが出来ないのか(3)。この悪い、神を忘れた時代の人は、徴をほしがる。しかしこの人たちには、ヨナの徴以外の徴は与えられない。」イエスは彼らをすべて立ち去られた(4)。と、「**御子イエス・キリスト様**」は、「天のしるし」を求める「パリサイ・サドカイ」の人々に、「朝夕の天気」の見分け方で、お答えになったのです。

⇒「試み」は、「論理的証明」で、パリサイ人らは、「**王なる救い主(メシヤ)**」の論理的証拠を求めたのです。

⇒主は、空模様での判断を示され、「ヨナのしる

し」以外は、与えられない、と仰せになり、立ち去られた(見捨てられた)のです。

⇒この主の振る舞いは、厳しいもので、ある意味で、決別でした。

⇒私たちも、主の厳しさを心にとめておきましょう。決別だけでなく、限りなき憐れみからのものも、あるからで、弟子たちも、十字架の主を一度ならず、裏切ったのですが、忍耐して、祈って待っていて下さいました。

⇒**KT師**は、シャルトルの大聖堂に向かう巡礼の旅(シャルル・ベギーの詩、「希望の賛歌」をもとに作られた映画)について語り、ベギーが自分の子供が大きな病気のため、礼拝堂で祈る姿を長い悲しい悲哀の巡礼として描いていると、紹介しています。

⇒私たちのへの「**神(天)の国**」の巡礼も、時に、悲哀と苦痛を背負ったものです。

⇒しかし、主を試みず、ひたすら十字架で私たちの罪を背負って下さった・悲哀を背負つて下さった主の前に罪を告白してひれ伏すのみです。

⇒卑下、卑屈になることではなく、心の底から

「王なる救い主(メシヤ)」を讃美するためです。

⇒【口語訳】 ピリピ° 1:7～11

7 わたしが、あなたがた一同のために、そう考えるのは当然である。それは、わたしが獄に捕われている時にも、福音を弁明し立証する時にも、あなたがたをみな、共に恵みにあずかる者として、わたしの心に深く留めているからである。

8 わたしがキリスト・イエスの熱愛をもって、どんなに深くあなたがた一同を思っていることか、それを証明して下さるかたは神である。

9 わたしはこう祈る。あなたがたの愛が、深い知識において、するどい感覚において、いよいよ増し加わり、

10 それによって、あなたがたが、何が重要であるかを判別することができ、キリストの日に備えて、純真で責められるところのないものとなり、

11 イエス・キリストによる義の実に満たされて、神の栄光とほまれとをあらわすに至るように。

## 結論；

- ◇神は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇マタイ書は、使徒マタイが、ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリストを証言した記録です。
- ◇マタイ5～7章は、神の御子イエス・キリスト様の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は**マタイ16:1～4節**の「**真のしるしとは**(4～)」と、**マタイ16:4節**で、パリサイ人・サドカイ人の悪質な質問、「天のしるしを見せてもらいたい」(1)にお答えになったものです。  
⇒「**真のしるしとは**(4～)」は、主は敢えてお答えになりませんでしたが、「主ご自身」です。
- ⇒パリサイ派の人々は、宗教熱心で、復活も信じていましたが、サドカイの人々は、政治色が強く、多くが、祭司でしたが、欲望に染まっていました。ただ1つ、「**御子イエス・キリスト様**」が、自分たちが、待ち望んでいた政治色のある「**王なる救い主(メシヤ)**」ではなかったことで、敵対することで、一致した。
- ⇒KT師は、これを「**悪魔**」の働きを彼らが代行していると仰せです。

⇒「**悪魔・悪靈**」は、主を試みたいからです。

⇒**KT師**は、徳善義和師の著、「ルターの祈り」から、「主イエス・キリストよ。あなたはわたしの義。私はあなたの罪。あなたは、私のものを引き受け、ご自分のものを私にお与えくださいました。ご自分の存在でありもしなかったものを、身に引き受けてください、これが私のものと言えななかつたものを、私に与えてくださいたのです」と。